

# 第二次蒲郡市地域公共交通計画（概要版）

## 蒲郡市の公共交通の現状認識

### 1 交通計画の策定経緯

- ・平成26年3月「地域公共交通総合連携計画」を策定
- ・平成28年3月「蒲郡市地域公共交通網形成計画」に変更
- ・令和3年6月「蒲郡市地域公共交通計画（第二次蒲郡市地域公共交通網形成計画）」を策定  
当該計画が令和7年度末を最終年度とするため、令和8年度からスタートする新交通計画を策定した。

### 2 現況分析からみた課題認識

#### (1) 公共交通サービスを取り巻く環境変化について

##### ○地域公共交通計画の評価から見た課題

- ・旧計画の評価指標について、一部の利用目標や支線バスの収支率等について達成できていないことから、社会情勢の変化を踏まえた目標指標の設定が必要である。

##### ○将来の公共交通の需要見通しから見た課題

- ・今後の潜在的な公共交通需要に大きな変化はないと考えられるが、アンケート調査からは支線バスを利用したことがある人は回答者の5%と、現状支線バスの利用率は低い。
- ・ターゲット層の公共交通の利用率を高める対応が必要である。

##### ○上位関連計画など市のまちづくりと連動した移動サービスの提供

- ・第五次総合計画や立地適正化計画で公共交通施策が位置付けられており、これらのまちづくりの計画と連動し、社会インフラとして維持していくことが求められている。

##### ○年齢・障がい者等の個人属性に応じたサービス提供

- ・高齢者タクシー運賃助成や福祉移動支援等、年齢・障がいといった個人属性に配慮したサービスがあるが、それぞれのニーズの変化に注意しながら継続することが必要である。

##### ○アンケート調査で明らかとなった住民ニーズへの対応

- ・住民ニーズに対して、公共交通を賢く利用する行動変容へと促せるよう、多くの期待に応えられる移動サービスの見直しを継続的に行っていく必要がある。

#### (2) 公共交通サービスの各モードについて

##### ○鉄道の課題

- ・利用者はコロナ禍前の9割程度であるため、利用者増加の取組みが求められている。

##### ○幹線バスの課題

- ・利用者はコロナ禍前の7割程度に留まっており、利用者増加に向けた取組が必要である。
- ・利用者減少や運転手不足のため、現状のままでは民間事業者による路線維持が困難になっており、移動環境を維持するための取組みが必要である。

##### ○支線バスの課題

- ・地区間の連携で、市民病院など他地区への接続や乗り継ぎに関する改善ニーズがある。
- ・高齢者以外の世代の利用に繋がっておらず、認知度に対して利用したことがある人の割合が極めて少ない。今後は住民ニーズに応じた利用者目線での改善を行う必要がある。

##### ○ネットワークの課題

- ・幹線・支線バスの相互乗り入れができておらず乗り換えが難しい。利用者目線のダイヤ・乗り継ぎ設定ができていない。ネットワーク全体の協調を目指した改善が必要である。

## 公共交通の将来像・基本方針・目標・事業

### 3 将来像・基本方針・計画期間

#### (1) 目指す将来の姿

「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系が構築され、子どもや高齢者をはじめ誰もが安心して移動することのできる環境が構築されている。」

#### (2) 基本的な方針

- 公共交通サービスを取り巻く環境変化に柔軟に対応した移動サービスの更なる拡充
- モード別の課題に対応したネットワーク全体での移動サービスの強化

#### (3) 計画期間

- 2026(R8)年度～2030(R12)年度の5年間

### 4 目標・事業

評価指標	【計画目標1】 移動サービスの拡充・持続可能性の向上			【計画目標2】 利用者目線でのサービス提供	
	人口カバー率	支線バスの収支率	公共交通維持にかかる市の財政負担額に対する理解度	不便を感じている人の割合	バス利用者満足度
現状値	93.6%	全体:6.1%	58.2%	35.7%	36.8%
将来目標	現状維持・向上	・全体で7%以上 ・各地区で前年比増加	60%以上	33%未満	40%以上
主な事業	○地域公共交通会議等の開催・協議・事業評価実施 ○ラストワンマイル移動環境の検討 ○レンタサイクル事業の継続実施			○高齢者タクシー運賃助成事業 ○福祉移動支援事業(福祉タクシー料金助成、福祉有償運送事業) ○利用環境改善事業(ベンチ設置等)	
評価指標	【計画目標3】 鉄道の持続的維持	【計画目標4】 官民協働・共創による幹線バスサービスの構築	【計画目標5】 満足度、利便性の高い支線バスサービスの構築	【計画目標6】 ネットワーク全体での移動サービス強化	
	鉄道利用者数	幹線バス利用者数	支線バス利用者数	バス+高齢者タクシー運賃助成事業の利用者数	
現状値	1,391,054人	合計:125,610人	合計:18,329人	合計:192,978人	
将来目標	140万人以上	各路線で前年比増加	各地区で前年比増加	20万人以上	
主な事業	○鉄道事業再構築事業(みなし上下分離方式による名鉄蒲郡線運行) ○鉄道の利用促進事業	○幹線バスの運行継続 ○幹線バスの事業改善	○支線バスの運行継続 ○支線バスの事業改善	○乗り継ぎ利便性の改善 ○利用してもらうための情報発信対応・利用促進活動 ○観光客にとって利用しやすい情報提供	